

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	秀林外語専門学校
設置者名	学校法人 金井学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
外国語課程	日韓通訳・翻訳学科（2年制） 韓国語ビジネスコース	夜・通信	72単位	3×2=6単位	
	日韓通訳・翻訳学科（2年制） 通訳・翻訳コース	夜・通信	84単位	3×2=6単位	
外国語課程	日中通訳・翻訳学科（2年制）	夜・通信	92単位	3×2=6単位	
外国語課程	情報ビジネスコミュニケーション学科（2年制）	夜・通信	74単位	3×2=6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>HPにてシラバスとあわせて各学科別に授業科目一覧を公開。</p> <p>(掲載：https://shurin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/c67c9b9548fb18ed0de5b020a1b59fa6.pdf (日韓通訳・翻訳学科) https://shurin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/74c7289ba46040c89d27ffadbde9cf6b.pdf (日中通訳・翻訳学科) https://shurin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/2413c8427e2fa75a9f64edb89e33b800.pdf (情報ビジネスコミュニケーション学科)</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	秀林外語専門学校
設置者名	学校法人 金井学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて役員名簿を公開している。公開している自己評価報告書16ページに記載 (掲載： https://shurin.ac.jp/topics/%e8%87%aa%e5%b7%b1%e8%a9%95%e4%be%a1%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元国会議員	2016.1.8 ~ 2020.1.7	経営計画の策定
非常勤	大学名誉教授	2016.4.1 ~ 2020.3.31	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	秀林外語専門学校
設置者名	学校法人 金井学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目については、毎年度、各学科の教員会議により、授業科目の設定、講義内容の検証が行われ、各授業の担当教員によってシラバスが作成される。</p> <p>シラバス作成の様式は学内で統一されたものを使用している。</p> <p>翌年度のシラバスは3月に行われる教員会議で決定される。これまでは学内で保管していたが、2019年度分よりHP上で公開を行っている。公開については、毎年のHPの更新時期が年度明けになっていることから、その前後に行う。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>(掲載：https://shurin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/c67c9b9548fb18ed0de5b020a1b59fa6.pdf (日韓通訳・翻訳学科))</p> <p>https://shurin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/74c7289ba46040c89d27ffadbde9cf6b.pdf (日中通訳・翻訳学科))</p> <p>https://shurin.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/2413c8427e2fa75a9f64edb89e33b800.pdf (情報ビジネスコミュニケーション学科))</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

定期試験を前期（9月）、後期（2月）の年2回、定められた日に実施する。試験は定期試験のほかに実力試験・小テストなどの筆記試験があり、これらとレポート、ノート提出、発表、実習などの方法、また日ごろの授業態度や出席状況によって、総合的な成績評価を行う。その結果合格者に対して、当該科目の履修が認定される。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

総合評価によって出された履修科目の成績評価を点数化し、履修した全科目の合計点を履修科目数で除した平均値を算出、100点満点（小数点以下一位まで）で点数化する。

成績評価方法については、HP上にも掲載している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

掲載：

<https://shurin.ac.jp/topics/%e8%87%aa%e5%b7%b1%e8%a9%95%e4%be%a1%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/>

(自己評価報告書24ページ)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

秀林外語専門学校の理念は、「『ことば』を通じて、東アジア各国の理解と交流を深めること」であり、この理念のもとに、国際的なビジネスの現場で自らの語学力を用い、ビジネスマナーを守りながら、文化や歴史の異なる人々を結び付けられる人材の育成を目的としている。

卒業要件としては、以下の全ての要件を満たした者に卒業資格を与え、卒業証書を授与する。

1. 全ての定期試験に合格し、各学期を修了していること。
2. 1年・2年の総出席率が80%以上の者。
3. 所定の卒業単位96単位以上を取得していること。
4. 授業料など学校への納付金を完納していること。

卒業要件については、HP上で公開している

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載：

<https://shurin.ac.jp/topics/%e8%87%aa%e5%b7%b1%e8%a9%95%e4%be%a1%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/>

(自己評価報告書24ページ)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	秀林外語専門学校
設置者名	学校法人 金井学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HP上に公開している。 掲載： https://shurin.ac.jp/topics/%e8%87%aa%e5%b7%b1%e8%a9%95%e4%be%a1%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/ (自己評価報告書46ページ以降)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告(書)	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語課程	日韓通訳・翻訳学科 韓国語ビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	96 単位時間/単位	88 単位時間 /単位	16 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		21人	4人	2人の内数	16人の内数	18人の内 数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 各授業において定期試験のほか、小テストやレポート、発表等を行っている。また、 教員による相談、面談や資格試験案内、就職担当と連動しての進路指導等を行い、学 生の学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	3人 (30.0%)	6人 (60.0%)	1人 (10.0%)
（主な就職、業界等） 貿易・物流会社、商社、免税店など			

<p>(就職指導内容)</p> <p>就職説明会開催、外部説明会引率、履歴書等添削、面接模試、マナー講座、個人面談等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>韓国語能力試験、ビジネス能力検定試験</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	4人	16.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>経済的理由、あるいは健康上の理由による就学継続困難、進路変更等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>定期的に担当教員や生活指導担当と個人面談を行い、修学上や生活上の相談を受けている。中途退学希望者には、本人の希望を聞いた上で面談を行い、可能であれば学校に残る方法や可能性について話し合う。やむを得ず学校を離れなくてはならない場合は、学生が将来なるべく不利益を被らないよう、学校側としてできる最善の処理を行う。</p>		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語課程	日韓通訳・翻訳学科 通訳・翻訳コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	96 単位時間/単位	84 単位時間 /単位	12 単位時間 /単位	8 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		21人	15人	2人の内数	16人の内数	18人の内数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業において定期試験のほか、小テストやレポート、発表等を行っている。また、教員による相談、面談や資格試験案内、就職担当と連動しての進路指導等を行い、学生の学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
17人 (100%)	4人 (23.5%)	7人 (41.2%)	6人 (35.3%)
（主な就職、業界等） 貿易・物流会社、商社、免税店など			
（就職指導内容） 就職説明会開催、外部説明会引率、履歴書等添削、面接模試、マナー講座、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定試験、BJTビジネス日本語試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	4人	14.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、あるいは健康上の理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に担当教員や生活指導担当と個人面談を行い、修学上や生活上の相談を受けている。中途退学希望者には、本人の希望を聞いた上で面談を行い、可能であれば学校に残る方法や可能性について話し合う。やむを得ず学校を離れなくてはならない場合は、学生が将来なるべく不利益を被らないよう、学校側としてできる最善の処理を行う。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
文化・教養		外国語課程	日中通訳・翻訳学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類		
				講義	演習	実習
2年	昼	96 単位時間/単位		92 単位時間 /単位	16 単位時間 /単位	単位時間 /単位
				単位時間/単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人		98人	98人	1人	21人	22人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 各授業において定期試験のほか、小テストやレポート、発表等を行っている。また、 教員による相談、面談や資格試験案内、就職担当と連動しての進路指導等を行い、学 生の学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
41人 (100%)	1人 (2.4%)	33人 (80.5%)	7人 (17.1%)
（主な就職、業界等） 貿易・物流会社、商社、通信、免税店、人材派遣など			
（就職指導内容） 就職説明会開催、外部説明会引率、履歴書等添削、面接模試、マナー講座、個人面談等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ビジネス能力検定試験、BJTビジネス日本語試験、日本語能力試験			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	11 人	10.8%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に担当教員や生活指導担当と個人面談を行い、修学上や生活上の相談を受けている。中途退学希望者には、本人の希望を聞いた上で面談を行い、可能であれば学校に残る方法や可能性について話し合う。やむを得ず学校を離れなくてはならない場合は、学生が将来なるべく不利益を被らないよう、学校側としてできる最善の処理を行う。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		外国語課程	情報ビジネスコミュニケーション学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	96 単位時間/単位	96 単位時間 /単位	8 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130人		160人	160人	2人	14人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施および公表】の4.を参照
学修支援等 （概要） 各授業において定期試験のほか、小テストやレポート、発表等を行っている。また、 教員による相談、面談や資格試験案内、就職担当と連動しての進路指導等を行い、学 生の学修支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
57人 (100%)	8人 (14.0%)	37人 (64.9%)	12人 (21.1%)
（主な就職、業界等） 貿易・物流会社、商社、ホテル、免税店、人材派遣など			
（就職指導内容） 就職説明会開催、外部説明会引率、履歴書等添削、面接模試、マナー講座、個人面談等			

(主な学修成果(資格・検定等)) ビジネス能力検定試験、BJTビジネス日本語試験、日本語能力試験
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
129人	13人	10.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、あるいは健康上の理由による就学継続困難、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的に担当教員や生活指導担当と個人面談を行い、修学上や生活上の相談を受けている。中途退学希望者には、本人の希望を聞いた上で面談を行い、可能であれば学校に残る方法や可能性について話し合う。やむを得ず学校を離れなくてはならない場合は、学生が将来なるべく不利益を被らないよう、学校側としてできる最善の処理を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
日韓通訳・翻訳学科 (韓国語ビジネスコース)	100,000 円	700,000 円	100,000 円	
日韓通訳・翻訳学科 (通訳・翻訳コース)	100,000 円	700,000 円	100,000 円	
日中通訳・翻訳学科	100,000 円	700,000 円	100,000 円	
情報ビジネスコミュニケーション学科 (日越通訳コース)	100,000 円	580,000 円	100,000 円	
情報ビジネスコミュニケーション学科 (ビジネス日本語コース)	100,000 円	550,000 円	100,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、HP上で公開している。 掲載： https://shurin.ac.jp/topics/%e8%87%aa%e5%b7%b1%e8%a9%95%e4%be%a1%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 関連企業や卒業生を含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの観点から当校の教育内容、学校運営について評価を行ってもら。評価内容は理事会や学内会議で報告され、またHPで公表する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
評価を確実に実施し、2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		

学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://shurin.ac.jp/
--